

遊佐町教育委員会だより

令和3年12月1日

問合せ ☎ 72-5891

「早起き・朝ごはん・躍動・早寝」を基本に

令和3年度に実施した全国学力・学習状況調査で、「毎日朝食を食べている児童生徒の割合（食育・生活リズム）」は、小学6年生で93.2%、中学3年生では96.0%と全国平均より高い結果でした。子どもを核に、保護者・地域の大人も一緒になって進めている「躍動」する遊佐っ子10か条の取り組みの成果が着実に表れてきています。

各小中学校で1人1台タブレットの活用が始まりました。将来、子どもたちは、ソサエティ5.0（超スマート社会：情報社会が進み、AI等が活躍する便利な社会）を生きることになります。どのように社会が変化しようとも、心身の健康が基本です。

生活リズムの向上をめざし、「早起き・朝ごはん・躍動・早寝」運動を一層大切にしながら、「いのち」輝いて生きる子どもたちの夢を育てていきます。



新小学校開校準備に向けての取り組み状況 (遊佐町立小学校新校開校準備委員会より)

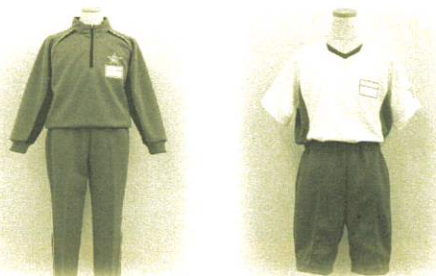
遊佐町立小学校新校開校準備委員会（総務部会・PTA部会・学校部会）では、令和5年4月の開校に向けて、着々と具体的協議を進めてきています。その取り組み状況をお知らせします。

- 遊佐小学校の校舎増築工事を進めています。（詳しくは次ページ参照）
- 遊佐小学校の空き教室のエアコン設置工事を進めています。
- 遊佐小学校の給食室、昇降口及び駐車場整備の設計を進めています。
- 令和3年度にスクールバスを2台増車する予定です。また、運行計画について検討しています。
- 校名（遊佐町立遊佐小学校）、校章、体育着は決定しました。
- 各小学校間の交流学习を行っています。
- 校歌の制作、教育後援会・同窓会の設置、見守り隊、放課後の居場所づくりについて検討しています。

校章



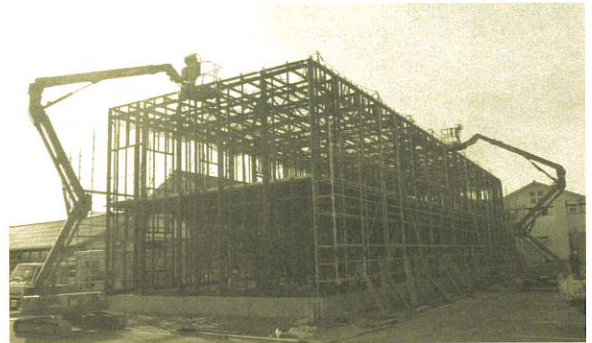
体育着



遊佐小学校の校舎増築工事が進む

新小学校開校に向け計画している工事の中で最も大きなものが遊佐小学校校舎増築工事です。この工事は、令和3年7月1日に着工し、令和4年2月28日までの完成に向け工事を進めています。増築校舎の構造は、軽量鉄骨2階建て、1階3教室、2階3教室の計6教室、1階・2階それぞれに男女トイレと収納倉庫が整備されます。総床面積は672㎡、現校舎東側の学習ルームから渡り廊下で接続されます。

工事は概ね計画どおり進捗しており、12月1日現在の進捗率は65%。鉄骨本体の組み立てが完成し、屋根、外壁、窓枠工事や、階段の設置により、新校開校のシンボルとして増築校舎の姿を見せたところです。今月から内装工事も始まりいよいよ佳境に入ります。新型コロナウイルス感染症や、建築資材の高騰などまだまだ予断を許さない状況は続きますが、工事に携わる多くの関係者や、学校、地域の皆様の協力を得て、新校舎完成に向け一步一步着実に進めてまいります。



増築校舎(令和3年11月8日現在)

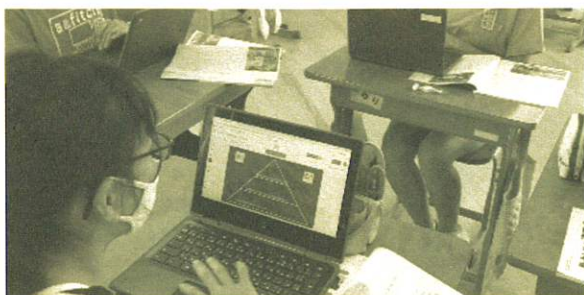
学校でのICT活用状況

ICT教育の充実に向けて、1人1台タブレット端末の活用に取り組んでいます。令和2年度より吹浦小学校が県のICT活用の推進校として研究を進めており、11月17日にはICT活用の公開授業が実施されました。推進校の吹浦小学校ではICTの活用方法を町内外に発信しておりますので、その一部を紹介します。

○大型テレビにタブレット端末の画面を映し出し、グループ内での話し合いやクラス全体での話し合いの場面に活用しています。タブレット端末を活用しながら、自分の考えを整理し、伝える相手を意識した話し合い活動を大切にしています。



大画面の前で、各グループで話し合った気づきを発表



それぞれの考えをもとに話し合いを深める

○自分の考えをタブレット端末のページにまとめ、自分が参考になりたい友達のページの内容は、色を変えて貼り付けます。出来上がったページは各自のタブレット端末で共有し、どこを説明しているか画面上に示しながら、相手に自分の考えを分かり易く説明し、話し合いを行います。

民俗芸能公演会をYouTubeで公開

町内外の民俗芸能保存団体が集い、毎年10月に開催している遊佐町民俗芸能公演会が、動画共有サイト「YouTube」の遊佐町公式チャンネルで無料公開されます。

新型コロナ・ウィルス感染症の影響により、昨年度から各地区の祭りや行事が中止を余儀なくされる中で、コロナ禍での公演会のあり方を検討した結果、今年度はYouTubeでの動画公開を行うこととなりました。

町内2団体の新規収録映像に加え、過去の公演会の映像を特別公開いたします。遊佐町に伝わる民俗芸能の数々を、この機会にぜひご覧ください。

～令和3年度遊佐町民俗芸能公演会 in YouTube～

○公開予定日

令和4年1月14日(金)

YouTube「遊佐町公式チャンネル」にて

※公開期間は当面の間



横町神代神楽

○出演団体

新規収録：蕨岡延年の舞保存会、横町神代神楽保存会

過去映像：杉沢比山連中、吹浦田楽保存会、内ノ目おかめ神楽保存会

遊佐町少年議会在「マニフェスト大賞」最優秀賞を受賞!!

11月12日に地方自治体や市民団体などの取り組みを表彰する「第16回マニフェスト大賞」(マニフェスト大賞実行委員会主催)最優秀成果賞(成果部門全国1位)を受賞しました。応募総数2,730件から遊佐町少年議会の取り組みなどの7件が選ばれました。

2003年に第1期としてスタートした本事業は、今年度で第19期目を迎え、毎年、若者の視点から町政への政策提言を行っています。

過去には、町のイメージキャラクターを募集し、選考・決定しました。それが「米～ちゃん」です。これは当時の高校生が描いたものが採用されました。他にもJR東日本への要望書・陳情書の提出、若者の居場所づくりのためのスタディスペースの開設等を実現しました。

今年度は、「遊佐町特産品の開発」と「遊佐町オリジナルかるたの作成」を進めている最中です。どちらも少年議会メンバーが一生懸命取り組んでいる政策です。



第1回少年議会



オリジナルかるたの作成

地域全体で子どもと大人が育つ コミュニティ・スクールの推進

遊佐町では、平成30年度に全小中学校で「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を導入し、地域の皆さんの参画と協働による学校運営を推進して4年目を迎えています。

これまで各小中学校の学校運営協議会では、委員（学校と保護者や地域の方々）が様々な視点から知恵を出し合い、学校運営への新たな提案から具体的に実現していることが多く見られ、正に「地域とともにある学校」と言えます。

今年度も5～6月、10～12月に、各小中学校で学校運営協議会が行われていますが、より多くの方からのご理解とご意見を学校運営に活かすため、委員に加え、地域の方々や教職員の参加による拡大学校運営協議会を行うケースが増えてきています。遊佐中学校では、「主役は生徒」を念頭に、初めての試みとして、代表生徒の参加による拡大学校運営協議会を実施しました。PTA役員を加えた会の中で、大人が直接中学生の意見を聴きながら共に考え、話し合う意義深い機会となりました。

今後も、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、「子どもたちの夢を育むまちづくり」を進めていきます。



中学生の地域での取り組みを聴き、「いろいろな人との『かかわり』を通して、心が豊かになっていくんだね！」と相槌を打つ委員。

「まずは相手を知ること。そこから多様性を共感的に理解できるのだと思います。」と自分の思いを語る中学生。

